

自家骨髄由来間葉系幹細胞を用いた急性脊髄損傷患者さんに対する急性期リハビリテーションに関する研究

2022 年から 2025 までに脊髄損傷治療のためにステミラック注投与を受けた患者さん

研究協力をお願い

当科では「自家骨髄由来間葉系幹細胞を用いた急性脊髄損傷患者さんに対する急性期リハビリテーションについて—当院の取り組み」という研究を行います。この研究は、2022 年 9 月 1 日より 2025 年 3 月 31 日までに東京労災病院脳神経移植科にて、脊髄損傷治療のためにステミラック注投与を受けられた患者さんのリハビリテーションに対する取り組みをまとめた研究で、研究目的や研究方法は以下の通りです。直接のご同意はいただかずに、この掲示によるお知らせをもってご同意を頂いたものとして実施されます。皆様方におかれましては研究の主旨をご理解いただき、本研究へのご協力を賜りますようお願い申し上げます。この研究へのご参加を希望されない場合、途中からご参加取りやめを希望される場合、また、研究資料の閲覧・開示、個人情報の取り扱い、その他研究に関するご質問は下記の問い合わせ先へご連絡下さい。

(1) 研究の概要について

研究課題名：自家骨髄由来間葉系幹細胞を用いた急性脊髄損傷患者さんに対する急性期リハビリテーションについて—当院の取り組み

研究期間：2025 年 4 月 1 日～2028 年 4 月 1 日

研究責任者：東京労災病院 中央リハビリテーション部 木戸 慎吾

(2) 研究の意義、目的について

自家骨髄由来間葉系幹細胞投与治療は脊髄損傷などの疾患に用いられる再生医療です。まだ新しい分野の治療のため、併用されるリハビリテーションにおいても最適な方法が模索されている段階にあります。当院は再生医療の投与施設として培ってきた経験や取り組みを論文にまとめることで、再生医療に関わるほかの医療機関さんがリハビリテーションを行われる際の一助となれたらと考えています。

(3) 研究の方法について（研究に用いる試料・情報の種類）

2022 年 9 月 1 日より 2025 年 3 月 31 日までに東京労災病院脳神経移植科にて、脊髄損傷治療のためにステミラック注投与を受けられた患者さんの人数を集計します。

この研究は、患者さんの以下の試料・情報を用いて行われます。

試料：なし

情報：人数の累計

(4) 個人情報保護について

研究にあたっては、個人を直接特定できる情報は使用されません。また、研究発表時にも個人情報は使用されません。その他、「人を対象とする医学系研究に関する倫理指針（文部科学省・厚生労働省）」および「同・倫理指針ガイダンス」に則り、個人情報の保護に努めます。

(5) 研究成果の公表について

この研究成果は学会発表、学術雑誌などで公表します。

(6) 問い合わせ等の連絡先

東京労災病院 中央リハビリテーション部 木戸 慎吾

〒143-0013 東京都大田区大森南 4-13-21

電話番号：03-3742-7301（代表） 内線：3421

メールアドレス：rigaku-riha@tokyoh.johas.go.jp